

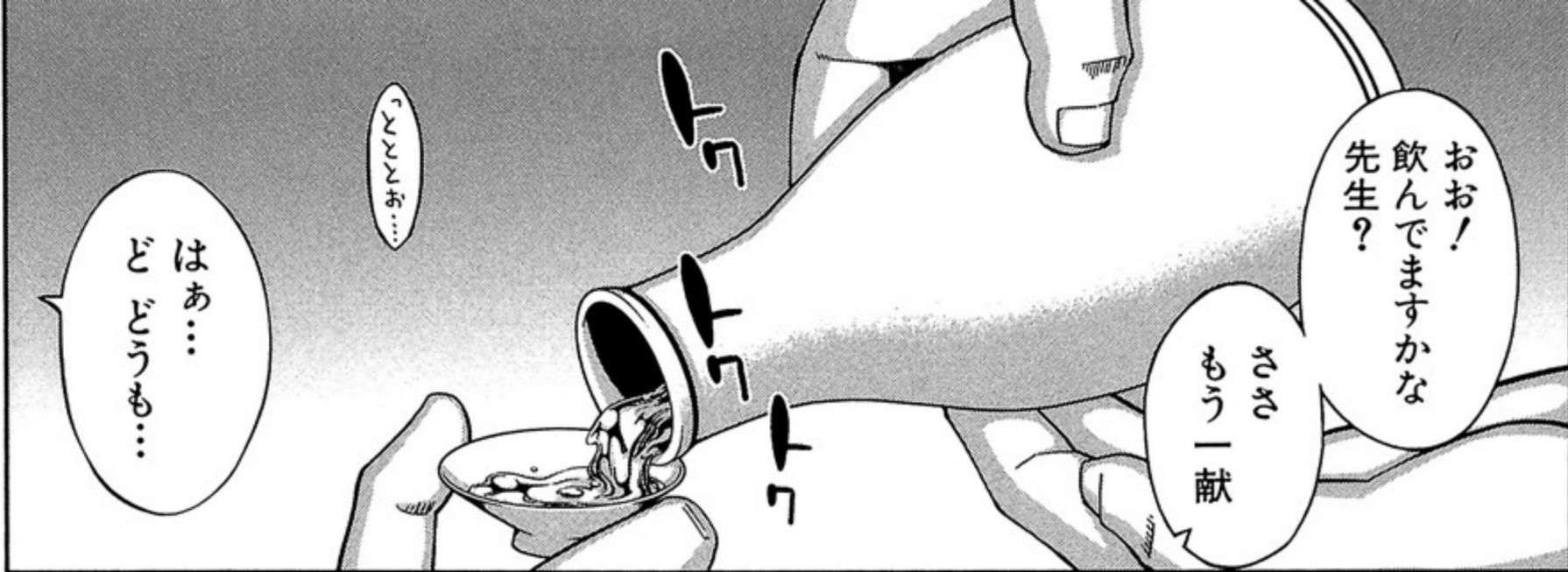
でいーエツ子!

〜ひもろぎ白嫁語〜



高津
TAKATU

成年
コミック



おお！
飲んでますかな
先生？

ささ
もう一献

はあ…
どどど…

んんん



いかん：
こりや少し
飲みすぎたな



おう 高尾の！
踊れ踊れ
ワッハハハハ

変な物まで
見え始めたぞ

おうさ
よしてきた！



…そもそも
なぜ僕はここに
いるんだろうか？

あッレ
大木倒れる
音がすりゃ

酒が来たぞ

よう、お久しぶり
お久しぶり



う

あら
目が覚めましたか？
センセ

どーエツキ!

～ひもろぎ百嫁語～
ひやくよめがたり



うわーっ!?

かにゃっ♡

だっだいっ
大丈夫ですから！
む胸胸がっ

ああまだ
起きあがっちゃ
いけませんよ



酒のせいかな
頭が回らない…
大丈夫なのか僕は
まさか記憶喪失にでも

いやいやいや
…最初から
順を追って
思い出そう…
えーと

佐野 豊英 さの とよひさ
先月で二十五歳
妻ナシ 恋人ナシ
もちろん子供ナシ

三年前から
売れない民俗小説家として
生計を立てている

売れないは
余計か

じゃなくて！
この辺鄙な所へ来るまでの
経緯 何かしら
あつたはずだ
じゃなきゃ用もなく
こんなところまで—

—思い出した
他に心当たりもない
アしだ

あの
葉書だ



作品の舞台にした
ある村からの葉書…
お礼に僕を迎えて
盛大に祝いたいと
招待状だった



うーむ
で思い出したのは
いいけれど

僕からすれば
行き詰まっていた
次回作のネタにでもなればと
…つまり半ば逃避の旅でも
あったわけだが

なつ…
の最新刊「…」
が村を舞台にしてお礼をしたくお言
ひを兼ねてお礼を申し込ませ
て下さるようお願いしたにも関わ
りながら用事したにも関わらず
世話をせざるを得ない…
幸いです。

場所は下記のよう
是非お越しください



いやだわセンセ
お酒の席でも挨拶
しましたのに…
お忘れになりましたか？

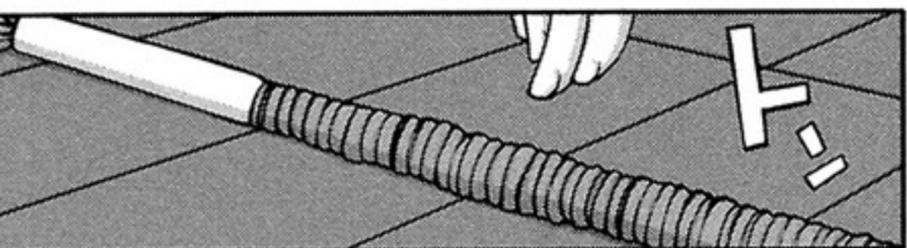
あ…申し訳ない
大分酔ってて…

いやそれより
なんで半裸で添い寝
なんかを…？



なんで…えーと
失礼ですが
お名前は？

えああの
久地縄…
久地縄 稟です



こういう時は
人肌で温めるのが
定石だと

それ雪山で遭難した時
とかじゃないかな！



どうぞ…

ジュンジュン!?



大切なお客人に
このような粗相…
本来許されるはずも
ございませんが

せめて…せめて私の
身体に折檻をして
お気を晴らして
頂ければと

いいやそんな
怒ってないし
折檻する趣味も
無いから！



箠尻

江戸時代で鞭打ちの
刑罰・拷問に用いられた
拷問具の二種
割った真竹を麻で包み
観世捻で巻き固めたもの

いやそういう事
聞いてないよ！



お茶
煎れますネ

勿論です!

栗さん 僕の作品
読んだりしてるん
ですか?



いやだわ私ったら
好きな小説のセンセを
前にして浮かれて...

あ良ければ
酔い覚ましにお風呂
沸かしておきましたけど



「雪女の憂鬱」も
「とある北方の
落の葉小人」も
全部読みました!

私だけじゃなくて
：センセの書かれた
妖怪小説は

この村の全員が
最屑にしてる
娯楽ですから



くわん
くわん



び
ちや



なんだ割と
名が知れてる
じゃないか僕は!

そそそう?
まあなんだうん
嬉しー



度重なる粗相
まことに申し訳ありません！
お風呂が沸いておりますが

その前に
センスのお好きな方で
お気の済むまで
私の身体をどうか

お風呂
行ってきます



…いや悪い人じゃ
なさそうだけど



センス…お背中
流しに入りますね…

うわ



見ず知らずなのに
介抱して
もらったし…

ちよつと行き過ぎな
カンジだよなあ…
ファンって
あんなもんなのか？

しつ 栗さん
流石にそれはマズイ
ですって！

アレをしても許す
コレをしても許すでは
申し訳がたちませんわ
せめてお背中を…

いや…
しかし…

今夜の主賓が
何を遠慮
なさいますか♡

すみません

はあ？

酒盛りのお誘いを受け…
こうして村を挙げて
手厚くもてなされ
本当に心苦しいのですが

その…僕は
自分の作品のネタに
なれば儲けものという
汚い気持ちで…ここへ

幻滅されたでしょう
小説家・佐野豊英が
こんなだらしない
男だなんて

正直な方で
益々惚れ直しました
センセ♪

そんな…

…それじゃあ
次回作は
もうお決まり
なんですか？

いえまだ…
まあどうせ
いつもの妖怪モノ
でしょうけど

ハハハハハ





知ってました？
濡れ女って
興奮するとですね

ぬるぬるの
潤滑油が沢山
染み出して
くるんです♥

しっ 知ら
知らないです！

す 滑って上手く
逃げられない！
……けど…



あああー！



んはあ♥



おっおおおー!

だっだ♡
だめだっ♡

あ♡センセの
センセのおち○ぽ
もうガチガチで
苦しそう♡

金玉も
きゆうって
上がってききましたね♡
出ます?
出ますよね?

ホント
やばいから

ほっ
ホントっ

出っ♡し栗わん
やめんおおおー!



だっだ

だっだ

だっだ

おっお



逃げなきゃ！
逃げ…ダメだ
間に合わないっ！！

びしょー！

びしょー

びしょー♡



びしょー
びしょー
びしょー
びしょー



ううん いや
ごめんなさい！
稟さん大丈夫!!

…わたしはただ…
濡れ女を知って
もらおうと…なのに



し…
しまつ…
やつてしまつた
あああ〜っ！

びしょー

いきなり突き飛ばす
なんて…本当に

コオ

本当に
酷い人…♡

ははは



そ、そういうえばさつきから
お仕置きされたがったり
今だつて酷い目にあつて
悦んでるみたいだし

あ…でも
センセが怒るのも
もつともですよ
私だけこんな
無理矢理に…

すみません私
センセに迷惑かけて
ばかりで

これもう…
お仕置きされても
仕方ないですね
ああ…

おど

この人は…
この人は…

…隼さん

加虐心





貴方という人は
本当にもう...



大切な客人に
さつきから何度も何度も！
わざとじゃないですよな？

聞いてます？ 栗さん！
本当に反省する気持ち
あるんですか？

あひ♡あ
ありまひゅ♡

反省しれまふう♡
しれまひゅ♡

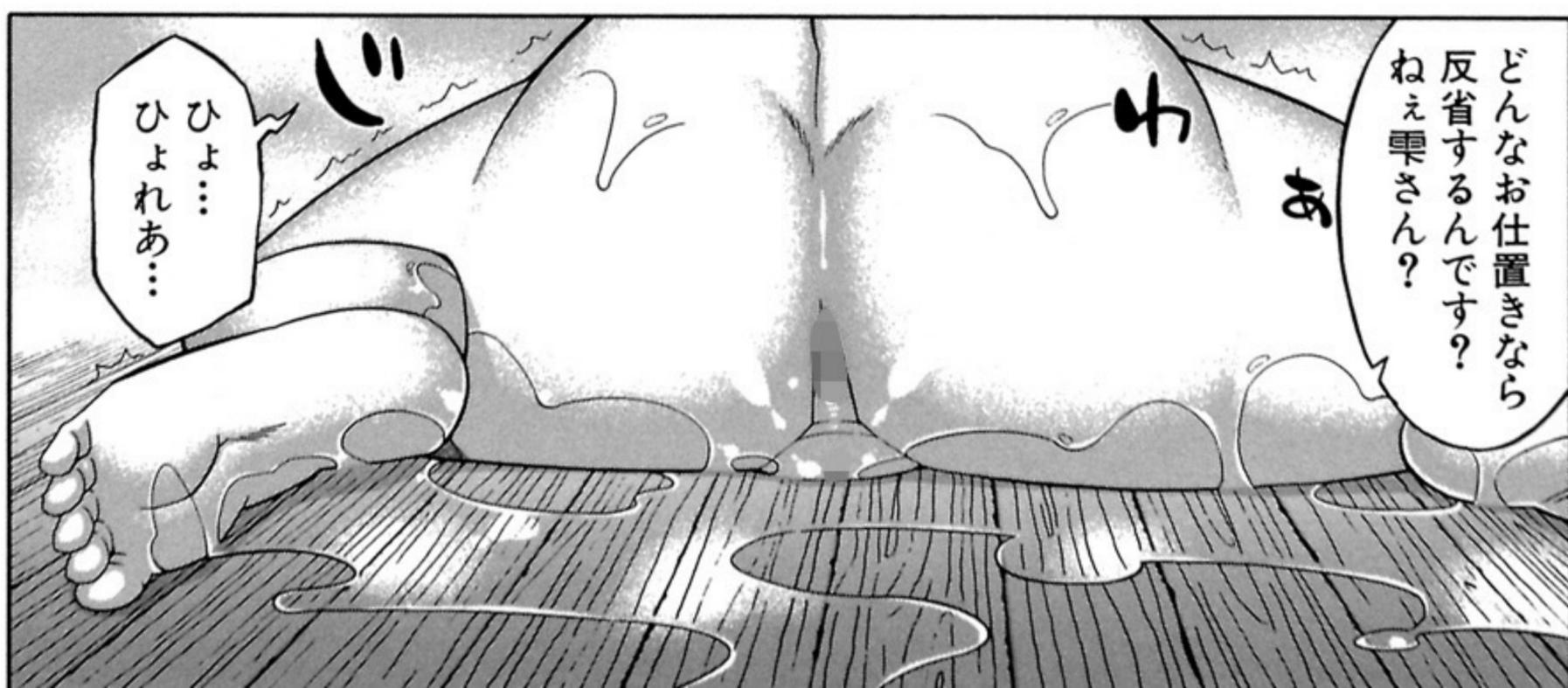
へえー？

うわあー！
表情も声も
なんでこんなに
そそるのか！

あああ…

だったらこの
ぐちゃぐちゃの
おま○こは
何のつもりです？

「おま○こ」





なんですか？
聞こえ
ませんよ？

センセ…の
…で…



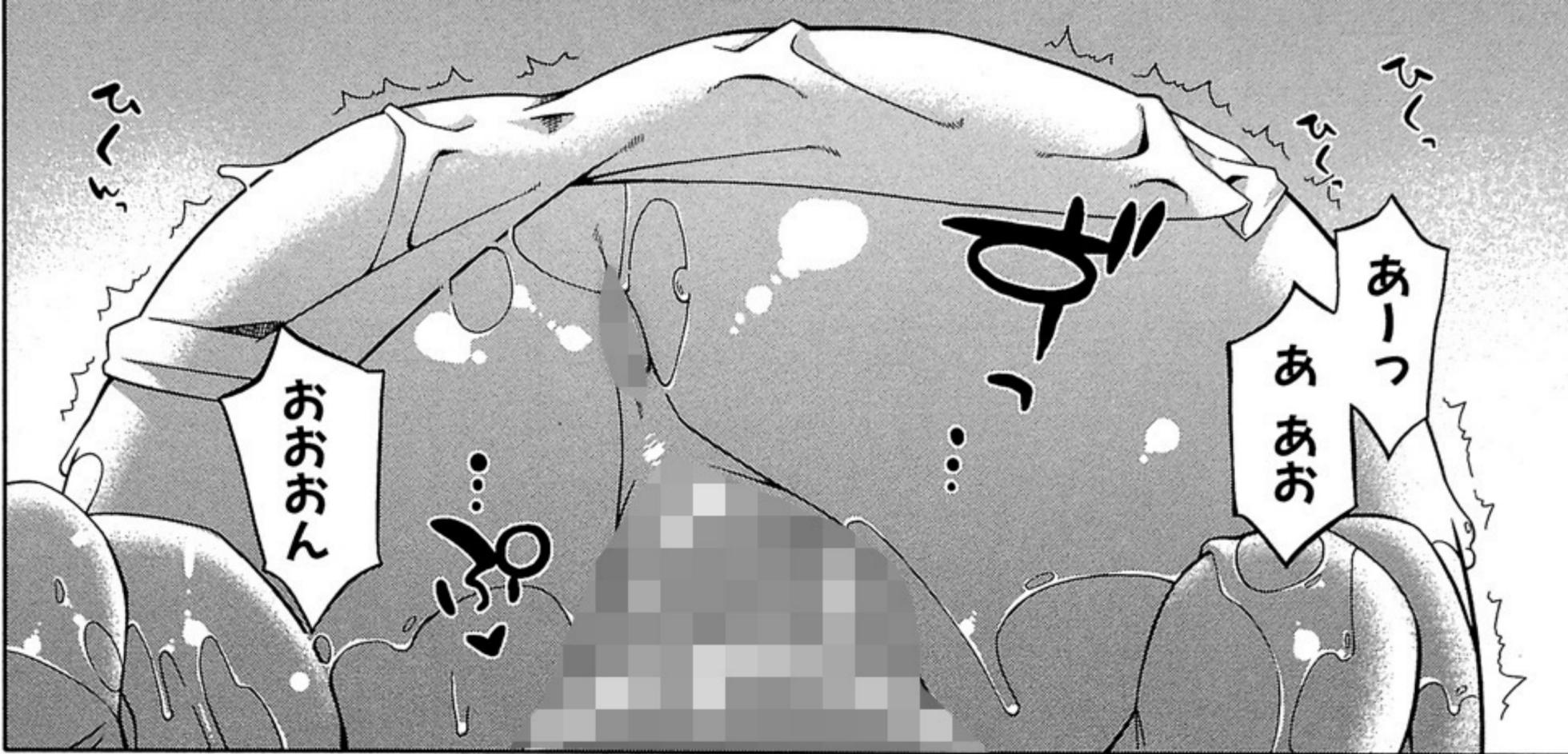
…センセのっ



今度こそ…今度こそ
反省しますから…♡

どうぞ…私の
だらしない身体を
躡なおして下さい♡

センセの立派な
おち○ぽでっ…



おま〇こ
お仕置きされる度に
身体中からぬるぬる
噴き出てますねっ

わかります？
汗と涎と精液と混ざって
すっごい臭い
なってますよ？

…って
ああもう殆ど
聞こえてないかな？

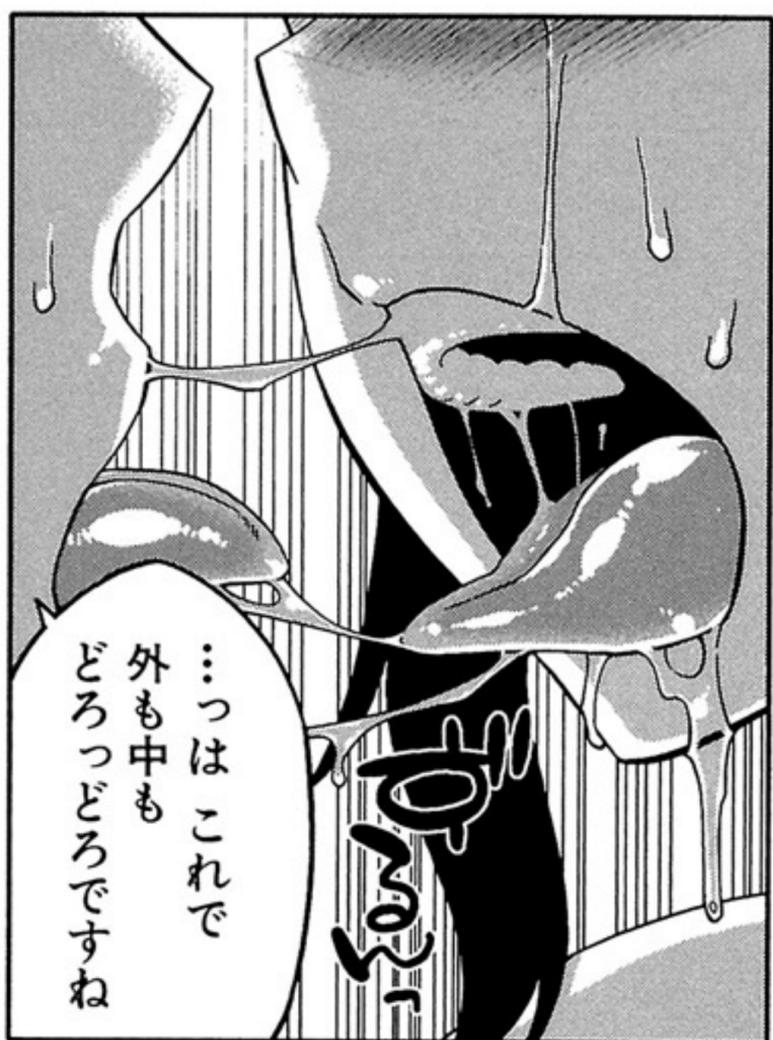
おっよっよっ♡

おっよっよっ♡





ふんむうう！



…っはこれで
外も中も
どろっどろですね



それにしてもっ…
いいんですか？
乗さんっ！
これじゃあ—

濡れ女ってのは
淫乱でスケベな妖怪だって
僕の小説に書かれちゃい
ますよ!?

やああ♥

いめんりやひゃい♥
それらはひいつ♥

堪忍してえ♥せこせ
堪忍しへえええ♥

じゃあ
認めて
下さいし...



栗さんだけが
特別にスケベな
変態濡れ女だっつー！
ほらっ！

み...認めますう
ごめんなひやい



だめだ...もう
止められない
どこまでも
虐めたくなるの

私はっひっ
大好きなせこせに
粗相をしてお仕置きされて
悦ぶ変態妖怪ですっ



濡れ女の
恥さらしですうう！

よ...っ！
素直に反省した
ご褒美をつ
あっ♥あげます
からねっ！
出る出る出る！

ありがと
ごぎいます♥
ありがっ♥
おおお♥



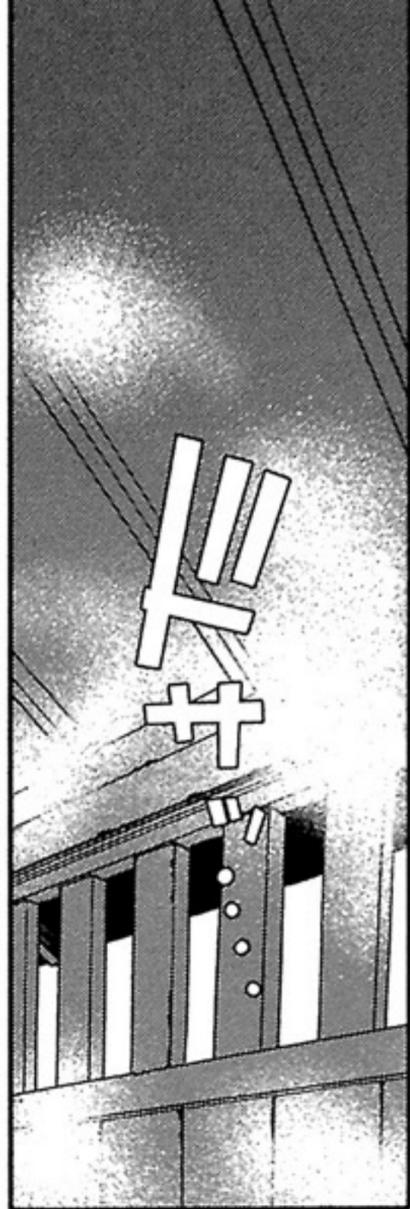
んあああああつ♡
おぢおぎつ せれどつ♡

トビ♡トビまぎろ
んうううー♡

フー

しきん...♡
しきんめきたあ
...♡

フー





おお目え
覚ましなさった

いやー 栗相手に
よう頑張った
だなあ先生
お疲れ様だあ

しかしこれで
先生の創作活動のも
りありてー？ちゅうのが
増すだな！

ワシ等の事ば詳しく
書いてもらえば
それだけ

世の人の心に残って
ワシ等自身も消えずに
済むでろう

いっそワシ等の村で
初めての人間村民に
なるかね先生？

ワツハツハツハ
ヨメさ貰えば
いいがや！

んだんだ！
おおそうじゃ



いっそ村の
別嬪どころを
何人か
見繕って…

なるほど
先生の好みで
選んで貰うのが
ええだな！

これから
身が持たねえだな
先生！
かははは！

未だ状況が
飲み込めてない
僕だったが



ただ一つ…
次の小説はなかなか
リアルなものが
書けそうだ
—なにせ自分の
体験談なのだから

…は…は…は…

どじょうはら

◇END◇